清瀬小第２学童クラブ保護者アンケート課題と対策

回答率：46%
「職員に気になることや心配なことを相談できますか」
「お便り（連絡帳）や職員との会話などからお子さんの様子が伝わりますか」
「防犯や防災に対する対応についての説明は丁寧にされていると思いますか」
この点が、全体的にポイントが少なく感じました。特に、職員に気になることや心配なことを相談できないというのは、いけないことですので、話しやすい雰囲気を心がけていきたいと思います。

●配慮が必要な子への対応を本児にとって具体的であったりわかりやすい説明など、丁寧に行って頂きたい。
育成において、支援員が子どもにかける言葉は、子どもにとって想像以上に重みを持ち、何気なく言った言葉や悪気なく使っている言葉が、せっかく生まれた好奇心を潰してしまったり、やる気を削いでしまったりするだけでなく、後々大人になっても残るような、自己否定や深い傷を残してしまうことさえあると思います。
支援員として、支援員からの言葉かけや働きかけが子どもにもたらす影響を自覚し、一人ひとりの個々のお子さんの特徴に配慮する育成をしていきます。
例えば、子どもが危ないことをしている場面での危険回避から、触ってほしくないものを触っているなどの行動を制する場合まで、様々な場面で子どもに使うことの多い「ダメ」。
 してほしくない行動を制する場合、子どもは頭ごなしに「ダメ」と言われても「行動を制限された」不快感を覚えて、行動を止めないどころか、大きな声でなきわめいたり、言い返したり……と反発してしまいます。やめてほしいと思うような行動も、危険な行動でない限り、子どもの成長過程では大切なこともたくさんあります。子どもの行動を「ダメ」でがんじがらめにして、興味や好奇心を潰してしまわないようにしていきます。
どうしてもしてほしくないことをしていた時は、まず「やってみたかったんだね」と子どもの興味を受け取った上で「でも、これは大切なものだから」としてほしくない理由をシンプルに伝えましょう。「危ないから一緒に触ってみよう」「学童の大切なものだからダメだけど、これならいいよ」など、「ダメ」で行動を制する代わりに「何をしても良いのか」を教えてあげるようにすることで。子どもが望ましい行動を理解して進んでいくことができるようにしていきます。

●子からの話なので正しい情報が分からないのですが、けん玉遊びや駒遊び、編み物等先生の入れ替わりにより前年度行っていたことができなくなったと聞きました。とても残念がっていた。
お子さんが以前おこなっていたことができないと感じてしまい、残念に思っていたのだと思います。

その気持ちを学童の支援員に伝えることができるように、大人側が決めるのではなく、子どもたちからどんなことをしたいかを聴き、いっしょに考ええいく体制を作っていき、子どもの考えを尊重していくようにしてきます。
実際には、今年度も遊ぶ時間帯や取り組み方を全員が一緒に実施すると言う形式から、やりたい子どもたちが自由に遊べるようにして、けん玉あそび（けん玉検定の取り組みも実施）、駒あそびもできていました。アンケート実施時期以降に、編み物にも取り組んでいます。基本的に職員の移動があったとしても、子どもを中心として子どもたちが楽しいと思える学童でのあそびの保障をしていくことが、支援員のとしての役割だと思っています。

●『長期休暇の給食について』 第１学童では実施していると聞きました。どのようにして実施が実現したのか、第２学童の保護者に共有していただけると嬉しいです。 確かに、年度初めの保護者会で給食について保護者間で調整するような説明は簡単にありました。しかし、ほとんどの保護者は顔なじみもなく、それぞれ仕事等で集まる時間はないので現実的ではないと感じています。学童の職員は児童の育成のため給食については関与できないとの説明もありました。しかし、おやつは関与できて給食はできないというのはどこか矛盾しているのではないかと感じています。 もう少し、保護者に寄り添った対応をいただけると幸いです。
お弁当の説明に不備があったのは法人の説明が細やかでなかったと大変反省をしております。申し訳ありません。冬休みに向けて、全保護者の方々にご案内をさせていただきました。

●『学童の車での送迎について』 学童からのメールに下記文言がありましたが、学童のしおり等にはそのような記載はどこにあるのでしょうか。 （清瀬市立学童クラブにおいて児童送迎時に、学童クラブや小学校周辺には駐車しないことになっております。） 仕事や天候などの理由でどうしても車での送迎になることはあるかと思います。 また、車を利用する際に、近隣の交通に配慮することは運転者として当然のことです。 学童には、車の利用を可と不可の二択にするのではなく、車での送迎は原則無しとした上で例えば ・保護者には近隣の交通への配慮と５分以内の駐車を周知 ・学童としては学童前の置き型フェンス撤去でスペース確保 などを実施することにより近隣住民、学童、児童、保護者にとってより利用しやすい学童であって欲しいと願います。
学童クラブでの車での送迎について、そもそも小学校は子どもがひとりで来て、ひとりで帰る場所であるため、車での送迎を想定して建てられていない事情があります。それに伴い、小学校内に学童クラブがある場合もあり、遠慮いただいている現状です。清瀬小第 2 学童クラブは、小学校の外にあるからいいじゃないかという意見もございます。しかし、その建物は清瀬中学校の敷地内にあります。無断駐車していると近隣の方からのクレームが中学校へ連絡が入ります。小学校へ入ることや市役所へ入ることもあります。
学童クラブだけの問題ではなくなってきます。まだまだ大人の手が必要な子どもたちなので災害時、緊急な事態のときに、地域の皆さんの力をお借りするためにも良い関係を保っていきたいという思いを強くしております。

幸いなことに、近くの方は挨拶をしてくださり、草木の手入れをしているときも手伝ってくださっております。

●第一学童と比べ、イベントや外遊びが少なく、子どもが学童に飽きてしまいそうなのが、心配です。 他学童と合同などでも良いので、イベントを取り入れてほしいです。

清小は第 1～3 まで学童があるが、職員の経験値や遊びの企画、お便りの頻度などに差があると思う。子どもが「あっちの学童は○○遊びをしたんだって」と羨ましがることがしばしばある。 また、以前は学童だよりに子どもの様子がわかるような写真や遊びについての報告が載っていたが、今はそれもなく、普段何をしているのかがわからない。

悪いこと、嫌なことする子に対して しっかり指導して頂きたいです。

学童クラブは、子どもの生活の場として居心地良く安心して安全に過ごせる場になることを目指しています。平日は、学年によって来所する時間も様々なため、イベントの実施は特に考えておりませんが、子どもたちのあそびが豊かになるように、異年齢との関わりの中であそびが発展し面白いと思えるように、子どもたちにあそびの提案や楽しめる気づきがあるように環境を整えていきます。

また、集団あそびを取り入れたりしながらも、子どもの発想をたいせつにして、危険がある場合を除いては「この遊び方はこうあるべき！」と決めつけず、子どもたちからの発信や子どもたちルールも取り入れていきます。

イベントに関しては、子どもたち意見を聴きながら一緒に考え取り組むことを今後は実践していきます。第 1 学童クラブや第 3 学童クラブとの合同の話し合いもスタートさせています。

育成の上では、イベントを通して楽しい経験から、子どもたちの成長が促されることも目的にしています。子どもたちの中心に支援員が手助けしながら、イベントを開催していきたいと思っています。

保護者の方々が学童クラブに来所される機会も少ない中、子どもたちの様子が分からないことで、不安や不信感につながってしまう気持ちは十分にわかります。職員の経験値や遊びの企画力は、職員の経験年数や一人ひとりの得意分野や菅家方も違うため、現実的に差を感じてしまうことはあるかも知れまさんが、そこをチームワークで乗り越えたり、毎月 1 回実施されている事務連絡会議で全学童クラブ主任が一同に会しての情報交換もしています。また、子どもにとってのあそびの大切さにつては、全国の学童クラブに講師として招かれている「遊びの達人」を講師に迎えて研修会も実施してきました。

運営側としても職員体制をさせながら、どの学童においても、子どもたちが楽しく、通いたいと思う学童クラブにしていきます。

●たくさんの子どもたちを見て、大変な中でやっていただいているとは思いますが、外遊びがとても少ないのが気になっています。 外遊びが好きな子もいます。 そこで発散できるものもあります。

暑すぎるから、などの理由があればわかりますが、早めに帰る子に合わせて、や注意されて時間がないから、などでずっと室内にいるだけなのは残念です。 別々の学童だとは聞いていますが、経営母体側同じ他の学童と連携して、見る目を増やすなどして、どの季節でも外遊びができる時間が増えるとありがたいです。

外遊びに対しては、学童クラブから学校の校庭が離れていることもあり、職員体制と安全や育成時間の流れ等を考えると室内で過すようになっていることが多かったと思います。

子どもたちは「外あそびに行き、思いっきり存分にあそびたい」との思いを口に出して言っているいともありました。大人側の通号ではなく、第 1 学童クラブ、第 3 学童クラブも同じ校庭であそぶので、いっしょにあそぶことや職員体制のことでも連携していきたいと思います。

●連絡帳は学童から持ち帰り忘れないように指導してほしいです。 今までそういったことはなかったのに、今年度になって何度かあり困りました。

　連絡帳も持ち帰り忘れについて、職員の配慮が不足していたと思います。今後、子どもにも伝えながら、確認していきます。